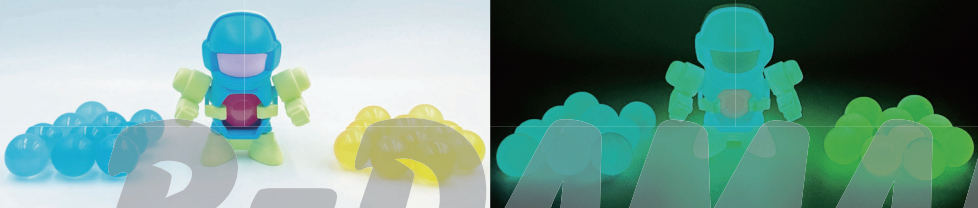
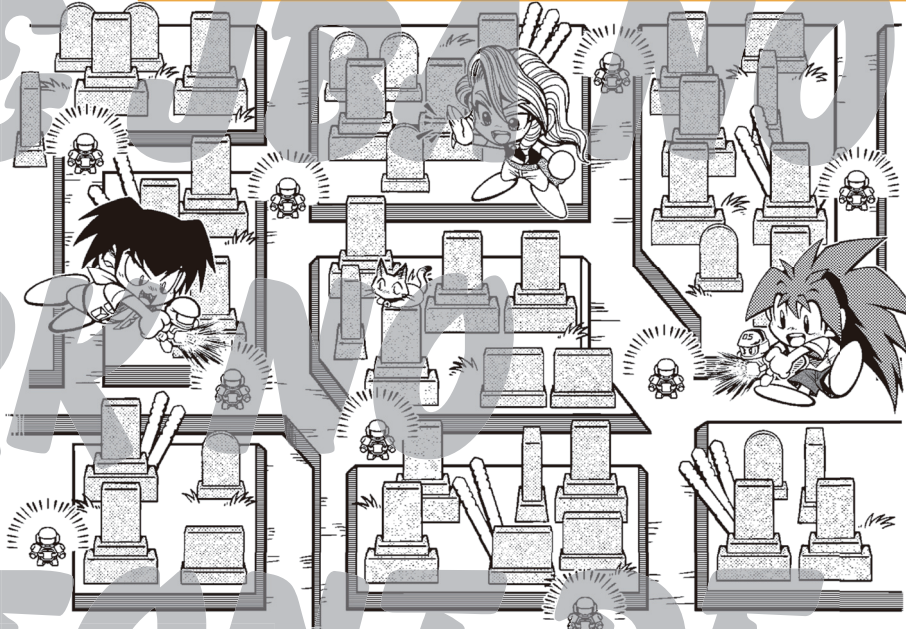


第3話「爆登場 最強ビーター猫丸？」

コミックス2巻「夜の墓場で暗闘バトル!!」に相当

脚本：富田祐弘 絵コンテ：土蛇我現 演出：日下直義



猫丸は光るビーダムンとビー玉を使った「宝探しバトル」をタマゴに挑む。墓地に隠された9体のビーダムンをターゲットにし、先に5体命中させた方が勝ち。猫丸は青色、タマゴは黄色く光るビー玉を使い、どちらが命中させたかを判定する。アニメ版には落とし穴や、ガンマが引っかけた釣り針等のトラップが仕掛けられており、漫画版はガンマが嫌々審判になり光るビーダムンを隠すが、アニメ版ではコーレイを引きずったガンマが審判を断り、突然背後に現れたサラが審判を買って出る。

「だつたらホクが審判になるう。いいな。」「ぬうおっ。」「アホ！ なんてこないなとこいきなり現れるんやあぁあ!!」「いつかこに現れようホクの勝手だ。この勝負、ホクが見届けよう。」「……相変わらずうぶんらんやっちゃ……」

タマゴに「速い！ あいつ、すごいフットワークだ」と言われる猫丸。2個目のターゲットまで猫丸が先に見つけるが、ビー玉が全く命中しないためタマゴが2個先取。ここまで漫画版と同じ。3〜5個目までのターゲットは猫丸が発見し、口距離射撃でゲット。この間、タマゴは落とし穴に落ちる。6個目を猫丸が発見したことにタマゴが気付き、死角のため墓石にワンバウンドさせてゲット。夜光塗料の光が弱まり、夜目が利く猫丸が7個目をゲット。

「猫丸のいるところにおまは必ずあるだもね」と背後から接近したタマゴが8個目をゲット。決着の9個目は猫丸が発見し「勝ちのついでにからかってやるニャー」とタマゴの背中を馬跳びして転がせる。9個目を狙えないタマゴは、猫丸が発射したビー玉と同じコースを見え、9個目をゲットして勝利する。漫画版ではタマゴが猫丸の股の間に滑り込んでターゲットを撃つが、アニメ版では起き上がりキャノンショットで決着する。オチには「つわつわ!! ビー玉のコーレイや!!」というオチと泣きながら逃げ去るガンマ。タマゴとカケル、アニメ版ではサラも加えて3人担いで走る。途中でマモルと少年2名が退場したのは、その場にいる全員を担いで逃げ去るガンマを描くためか、単にバトルが始まってからモブを描くのは作画が面倒のどちらかか。とは言えモルは猫丸とチームを組むのだからモルは残してもよかったのではないか。第3話時点で猫丸・カケル・マモルがチームを組む脚本が固まっていなかった可能性もあるか。



▲「タマゴ！ おまえとのバトルのために用意した猫丸カスタムだニャー!!」ニンテンドー64用ゲームソフト『バトルフェニックス64』に登場するオリジナル機「ニャンコロファイター」とは異なる。連射が出来ない猫丸カスタムだが、トリガーにスプリングが入っている描写あり。

ガンマが意外に怖がり可愛い、飛田猫丸の初登場回。タマゴ vs 猫丸の回想シーンは劇画調で、原作にはない演出が面白い。「猫丸カスタム」というアニメオリジナル機体が登場する。ちなみに猫丸の頭に乗っている可愛い子猫の名前は「ミミ」。作者の今賀俊先生が昔飼っていたシャムネコがモチーフだとコミックス9巻の作者コメント欄に書いてあった。

アニメ版はサラが審判として登場するところが違う。さすが魔術師。神出鬼没。夜光塗料を塗ったターゲットとビー玉を使う、夜の墓場でのトレジャーハントバトル。狙い撃ちが苦手でもフットワークや奇襲で得点を稼ぐ猫丸。落とし穴にハマって苦戦するタマゴ、案外良い勝負に。ここでタマゴは墓石にショットをぶつけて弾道を変え、当たらないところからターゲットをゲットしている。第1話で鉄骨に当たり跳ね返ったビー玉が命中したのは、ガンマの分析によるとまぐれではなかった、という形で伏線回収されている。これはアニメオリジナルの解釈かなあ。その後、夜光塗料の光が弱くなり、夜目の効く猫丸が有利になる。が、猫丸の弾道を盗んで当てるという高等技でタマゴが勝利する。和尚さんがビー玉のお化けと間違われるオチは原作通り(笑)



▲第3話のみの劇画調演出をイラストで再現した。カケルの回想ではいつも通りの姿の猫丸が「ビー玉ぼろり」で空きカンに全く届かずに負けている。

門限が迫り墓地を走り抜けるカケル、マモル、モブキャラ「少年」の3名。「少年」はガンマ初登場時、ガンマに敗れビー玉を差し出している少年と同じ。ガンマより背が高くカケルも良い。習字学校で「ビーダムンのコーレイが出て空を飛んだんだ」とカケルが打ち明ける。カケル(オレンジ色のポロシャツと短パン)とマモル(白いニット帽)は猫丸とチームを組んで全日本ビーター選手権に出場する。

タマゴ、お寺の墓地にタマゴ、ガンマ、カケル、マモル、他2名で幽霊調査に行く。漫画版同様、平静を装いつつ内心では幽霊が一番怖がっているガンマ。木の枝に仕掛けられた釣り針がガンマの襟首に引っかかる。「うう……ああああああ!! コーレイが……っ!! ワイの襟首つかんぞ……っ!! うあああ……はなせ! はなせ!」

猫丸の登場と入れ替わるように、マモルとモブ少年2名はコーレイにビビって帰宅。コーレイの正体は夜光塗料を塗った光るビーダムンとビー玉だったことが判明し、物陰から猫丸初登場。頭の上に乗っている猫は「ミミ」。

「タマゴ……? おまえは我が宿命のライバル、戸坂玉悟!! オレは飛田猫丸。おまえにバトルの回想となり劇画調の9等身タマゴと9等身猫丸、審判の9等身カケルが登場し、広場で空きカン落としをする。必勝を確信した9等身猫丸だが、9等身タマゴのパワーショットにビー玉が弾き飛ばされ負けたという記憶になっている。

▲第5話で一瞬だけ登場するカケルのビーダムン。頭部に「X」マーク有り。(掛け算の「かける」?)

▲カケルは今賀俊先生の「コロコロまんがアカデミー」の主人公。本書P.2のQRコードから電子書籍版が購読可能。まんがの描き方のハウツー。



▲第5話で一瞬だけ登場するカケルのビーダムン。頭部に「X」マーク有り。(掛け算の「かける」?)



▲カケルは今賀俊先生の「コロコロまんがアカデミー」の主人公。本書P.2のQRコードから電子書籍版が購読可能。まんがの描き方のハウツー。

